

模擬店作業内容

2014年7月27日

1. かき氷担当 開店前に、かき氷機(電動)と発電機を設置し、配線を行う。
電動氷かき機から大きめの紙コップに「かき氷」を作り、好みの
シロップをかけて貰い、スプーンを添え代金と引換えに渡す。
シロップの容器を事前に洗浄すること。
@100円×500杯(18杯ノ一貫目)
2. 焼そば担当 パック詰めの「焼そば」を代金と引換えに渡す。
@200円×400パック
3. フランクフルト担当 パック詰めの「フランクフルト」に好みのケチャップ・
マスタードをかけて、代金と引換えに渡す。
@100円×350パック
4. 唐揚げ&ポテト担当 パック詰めの「唐揚げセット」を代金と引換えに渡す。
@200円×350パック
5. 枝豆担当 パック詰めの「枝豆」を小さなレジ袋に入れて代金と引換えに
渡す。(食べた殻等を捨てないで！)
@100円×200パック
6. 飲み物担当 発砲箱・幼児プール計3つにそれぞれ水と氷塊を入れ缶ビールと
ソフトドリンクを入れ、各々に冷やしておく。客の求めに応じ、選んで 拭いて、代金と引換えに渡す。
缶ビール@200円×144缶
お茶(500ml)・ジュース類(500ml)@100円×各144本

※ 店舗の開店準備

指定場所に、お金・釣り銭箱・看板・メニューの売店環境を確認。

※ 販売に伴う「釣り銭」について→事前に会計に依頼する。(仮払い処理)

500円硬貨×120枚=60,000円

100円硬貨×300枚=30,000円

50円硬貨×120枚= 6,000円 (クーポン券(50円)とお金の客対応)

1,000円札×24枚=24,000円 合計120,000円(事前に用意)

(これらの釣り銭を模擬店ごとに均等に 6分割する。)

※ 売上金・釣り銭の管理

①各模擬店の正副責任者が管理する。(班分けのメンバーで1が正、2が副)

②閉店後、中参集会所で売上金を計算する。

③後日「参番街の預金通帳」に売上金と釣り銭分(100,000円)を別々に預金
する。⇒会計担当